

テーマ：適塾から学ぶ江戸時代

2023年11月29日（晴れのち曇り）

- ・AM～緒方洪庵・適塾の講義
- ・PM～適塾見学（大阪・北浜） 受講生：午前28名、午後27名（担当4班）

午前中、松永和浩講師により本日のテーマ「適塾から学ぶ江戸時代」の講義を受けました。大阪北浜にある適塾（国史跡・重要文化財）は、当代きっての蘭方医緒方洪庵（1810～1863）が1838（天保9年）に開いた私塾で、西洋医学の研究をはじめとして種痘事業（天然痘）やコレラ治療など大きな医学史上の業績が生まれました。又、全国から集まった若き門下生の教育にも多大な精力を注ぎました。幕末から明治維新にかけて日本の近代化に大きく貢献した人材を輩出しているなど、緒方洪庵の生涯・学問・医療・教育-について講義頂きました。

午後、最初に「徐痘館記念資料室」で日本の種痘の歴史の解説。幕末当時多数の死者を出した天然痘を予防するため、イギリスのジェンナーによって開発された種痘が我が国にもたらされました。種痘を行う為の大拠点となったのが、緒方洪庵開設の「徐痘館」です。その活動は日本の近代医学史上に大きな役割を果たしました。

続いて適塾です。色々な文献の中興味を引いたのが多くの塾生が過ごした大部屋です。一人一畳分の面積が割り当てられ、苦学して生活している当時の情景が感じられました。大部屋にある柱の刀傷は血気盛んな若者たちがつけたものです。

その中から、日本の近代化を支えた福沢諭吉、大村益次郎、橋本佐内など多くの人材が巣立っていきました。



除痘館記念資料室



緒方洪庵銅像 松永和浩先生



史跡重要文化財 適塾



緒方洪庵肖像画



柱の傷 塾生の思い